

# 木軸パネル工場を新設、今秋製造開始

## スカイ

### 断熱化需要や職人不足に対応

スカイ（静岡県磐田市、金澤和孝社長）は、木軸壁パネル「スカイパネル」の製造事業を本格化する。同社船明拠点内にパネル専用の製造工場を新設し、今秋の稼働開始を予定している。生産目標は年間60棟分で、プレカット及び納材の仕組みに組み込み、住宅の断熱性能向上と省施工化の需要に応えていく考えだ。

同社は大手プレカット前と同社が開発した真力化、現場の廃棄物削減ト事業者として天竜川壁タイプの新パネル減などに貢献する。この沿いの豊岡拠点で本社で、PBノボパンや針葉樹合板の面材に四方脱炭素社会実現に向けて工場と豊岡太郎馬工場、船明拠点で羽柄工場の合板工場、柱工場、金物工法専用のMF工場を運営している。スカイパネルは2年が簡単で、短工期や省築現場の職人不足問題

などから木軸パネルの需要が増加すると判断し、事業の本格化に踏み切った。



製造を本格化するスカイパネル

新工場は、船明拠点内の敷地（元作業場約4000平方メートル）を活用して一部2階建ての工場棟（延べ床面積1165平方メートル）を建設する。製造ラインには断熱材専用加工機と自動フレージングマシン、シーリングマシンを導入し、面材に国産杉やR・Wウッド等の四方枠材の取り付け

と、断熱材（押出式ポリスチレンフォームまたはフェノールフォーム）のカットと取り付けを行う。面材や枠材

**集成材** お問い合わせ下さい

**FSC** SSGC 0001309 国内産

**TSC 株式会社 ティ・エス・シー**  
 〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53  
 TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349  
 ホームページ <http://www.syusei-tsc.com>

の加工は同じ船明拠点内の別工場が事前に行う仕組みだ。なお工場棟は鉄骨造だが、2階に置く事務所にはCLTを造作に活用する。計画では、まず4月に

敷地内にテント倉庫（480平方メートル）を設け、6月に工場上屋の建設を開始する予定だ。パネルサイズは3×8.10判が主体。同社ではCAD運動で製造し、他のプレカット材も検討している。

立花ADMの全株式取得  
カメイ  
を中心に全国的に事業展開している。主に大規模建物などの杭基礎工事、地盤改良及びトンネル掘削工事などで使用される土木資材（ベントナイト、セメント、薬剤など）の卸販売や土木建設機械の製造・販売などの有力企業。今後は双方の強みを生かした協業により、建設関連の新業態からインフラ関連の修繕需要など幅広く取り込み、さらなる事業拡大につなげる考え。

う。県内に複数工場を建設する計画だ。また、国内産材全体の需要増の期待も大きい。カメイは、県内に複数工場を建設する計画だ。また、国内産材全体の需要増の期待も大きい。

発行所 1135-0004  
編集・営業部 FAX  
印刷部 FAX  
http://  
eメール  
購読科  
©日刊  
本紙の著作権  
は、著作権

HOPI  
木材  
Japan

三  
無  
用  
ミ  
https://  
mihan